



三次もののけミュージアムをのぞいてみよう！



【交流館】(別棟)

三次地区の観光拠点となる文化観光ガイド施設。お土産物ショップやレストラン、体験学習室もあります。



【日本の妖怪】

人智を超えた自然現象に対する畏怖や、心の不安から生み出されてきた妖怪。絵画や書籍、日用品、玩具などから、妖怪が人々の生活に密接に関わってきた様子を紹介します。

開館記念展
「妖怪文化の精華～湯本豪一
コレクションの粹～」展
期間：4/26▶7/2



【企画展示室】

湯本豪一氏から寄贈を受けた妖怪コレクションを中心に、様々なテーマによる企画展示を開催します。



【チームラボ 妖怪遊園地】

みんなの描いた妖怪がスクリーンで動き出す!? インタラクティブな作品で遊びながら学べる空間。妖怪の存在をより身近に、面白く感じることができます。



楽しそうだね!



堀田家本
「稲生物怪録絵巻」
全3巻展示
期間：4/26▶7/2



【デジタル妖怪大図鑑】

タッチをするだけで妖怪の姿や歴史を学べる大図鑑。気軽に、楽しく、妖怪に触れるきっかけをつくり、新しい発見と学びを生み出します。

いもうものけろく 《稲生物怪録》ってなに？

江戸時代に実在した広島藩士の稲生武太夫(いもうぶだゆう)が平太郎と名乗っていた少年時代に、30日間にわたって現われる様々な妖怪や怪異に耐え抜いたとされる物語。江戸時代を代表する国学者平田篤胤(ひらたあつたね)が関心を寄せたことから全国に広まった。

ほくの名前は平太郎。
ミュージアムを
案内するよ!



【稲生物怪録】

江戸時代の三次を舞台とした妖怪物語《稲生物怪録》。本や絵巻を中心に、実在した主人公とその歴史背景、伝播し続ける物語の魅力を紹介します。



「稲生物怪録絵巻(堀田家本)」(部分)
個人蔵 (三次市教育委員会寄託)

※パースはイメージです。